

平成28年度 学校評価実施報告書

2 2回目評価

<ul style="list-style-type: none"> 個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定 			
分野	評価項目	(1回目評価を踏まえた) 年度末までの取組	(取組結果を検証する) アンケート項目・各種指標
確かに学力	授業改善	<ul style="list-style-type: none"> 各教科での言語活動のさらなる充実 研究会テスト、ブレジョイ、ジョイント、学プロの結果 わかる授業の創造(教材研究の充実)と年8回の授業研究・研究報告会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の話す・聞く態度の変容 研究会テスト、ブレジョイ、ジョイント、学プロの結果 「自分から進んで発表したり、活動したりしながら学習していますか。」 <p>「できている」児童生徒の割合は96%、保護者の割合は80%</p>
	自ら学ぶ力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが主体的に学べるような問題解決的な学習や探究活動の充実 自分で学習の仕方を工夫しながら学習に取り組んでいますか? 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら学ぼうとする児童生徒が増えてきている。 「できている」児童生徒の割合は88%、保護者の割合は68%
	家庭学習の習慣化	<ul style="list-style-type: none"> 学校だより・学級だよりによる啓発活動 家庭学習の具体的な指導と評価 自主学習の実施、点検 	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭学習を忘れずしっかりしていますか」 自主学習ノートの点検、評価 <p>「できている」児童生徒の割合は92%、保護者の割合は64%</p> <p>宿題以外の自主学習を奨励し、点検するようにしている。</p>
豊かな心	「公共の精神」に基づく態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> 各活動で話し合いや協力の場を積極的に作る 保護者・地域とのクリンキャンペーンの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「丁寧な言葉づかいができますか」 「学校や学級のきまりや約束を守って生活していますか。」 <p>「できている」児童生徒の割合は80%、保護者の割合は72%</p> <p>「できている」児童生徒の割合は88%、保護者の割合は100%</p>
	支え合い高め合う集団づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢集団による縦割り活動の取組 振り返りアンケートの記述内容 自己肯定感、自己有用感等の自尊感情を高める取組 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の変容 児童生徒は自ら高める活動を考えており、変容が見られた。 アンケート結果からも満足感を得ていたようだ。
健やかな体	自他を大切にする態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣の確立に向け、早寝・早起き・朝ごはんの呼びかけ 健康観察カードの実施、働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> 「早寝・早起きなど、規則正しい生活をしていますか」 健康観察カードの点検 <p>「できている」児童生徒の割合は81%、保護者の割合は72%</p> <p>健康観察カードにより児童生徒の健康状態が把握できている。</p>
	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 遊びやスポーツを通した運動の習慣化 4年生からの運動部活動の実施 レインボータイム、休み時間の遊び、運動の奨励 	<ul style="list-style-type: none"> 「しっかりと運動をして、体力をつけていますか」 新体力テストの結果 <p>「できている」児童生徒の割合は81%、保護者の割合は72%</p> <p>新体力テストの結果は、ほぼ平均値である。</p>
独自の項目	小中一貫教育の充実と発展	<ul style="list-style-type: none"> 期の取組 学習の柱部会の取組 花背くわくわくバンドの取組 スキー学習、俳句、そろばん学習 	<ul style="list-style-type: none"> 期の会や学習の柱部会の実施回数 演奏発表回数 各種展覧会への応募



アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価
評価日	平成29年3月9日
評価者・組織	教職員・職員研修
アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)
<p>-授業中、聞くことができるようになっており、聞いたことに対する自分の考えが述べられるようになっていた。</p> <p>「できている」児童生徒の割合は96%、保護者の割合は80%</p>	分析を踏まえた改善策
<p>・児童の話す・聞く態度の変容</p> <p>・研究会テスト、ブレジョイ、ジョイント、学プロの結果</p> <p>・わかる授業の創造(教材研究の充実)と年8回の授業研究・研究報告会の実施</p>	<p>・授業改善を目指し、日々の教材研究を充実するように努め、公開授業を実施してきました。</p> <p>・語話す活動をさらに充実させ、自分のおもいや考え方を述べられるようにしていく。</p> <p>・書く活動をさらに充実させ、言語活動につなげるとともに、思考活動を活発化させていく。</p>
<p>・子どもたちの学習態度の変容</p> <p>・自分で学習の仕方を工夫しながら学習に取り組んでいますか?</p>	<p>・進んで発言する子どもが増えており、自ら学ぶ意欲は高まっている。</p> <p>・「できている」児童生徒の割合は88%、保護者の割合は68%</p>
<p>・「家庭学習を忘れずしっかりしていますか」</p> <p>・自主学習ノートの点検、評価</p>	<p>・家庭学習について、保護者・教職員と児童生徒のとらえ方に違いがある。児童生徒は宿題とどちらしていると思われる。保護者・教職員は、家庭で自主的に学習する習慣を持つていてほしいと考えている。</p>
<p>・「できている」児童生徒の割合は92%、保護者の割合は64%</p> <p>・宿題以外の自主学習を奨励し、点検するようにしている。</p>	<p>・子どもが自分の苦手などを克服し、得意なことを伸ばしていくような自主学習ができるようになります。</p> <p>・家庭学習において、主として家庭の大切さや内容、方法についてわかりやすく指導している。</p>
<p>・「できている」児童生徒の割合は80%、保護者の割合は72%</p> <p>・「できている」児童生徒の割合は88%、保護者の割合は100%</p>	<p>・あいさつにおいて子どもはできているを感じているが、学校・保護者はあまりできていないと感じない。</p> <p>・「できている」児童生徒の割合は81%、保護者の割合は72%</p> <p>・児童生徒は自ら高める活動を考えており、変容が見られた。</p> <p>・アンケート結果からも満足感を得ていたようだ。</p>
<p>・早寝・早起きなど、規則正しい生活をしていますか</p> <p>・新体力テストの結果</p>	<p>・「できている」児童生徒の割合は81%、保護者の割合は72%</p> <p>・健康観察カードにより児童生徒の健康状態が把握できている。</p> <p>・「できている」児童生徒の割合は81%、保護者の割合は72%</p> <p>・新体力テストの結果は、ほぼ平均値である。</p>
<p>・期の会や学習の柱部会の実施回数</p> <p>・演奏発表回数</p> <p>・各種展覧会への応募</p>	<p>・期の会や学習の柱部会は必要に応じ、月1回以上は行っている。</p> <p>・昨年度より増え、5回校外向けの発表を行った。</p> <p>・各種展覧会で表彰(入選佳作)を受け、俳句は京都新聞に掲載</p> <p>・花背くわくわくバンドの取組については、一定の成果をおさめている。児童生徒にとって「できることが増えている。(スキーや同じ)」花背のことについて、子どもたちがしっかり考えられるようになってきている。</p> <p>・自慢できることが増えてきている。</p>

学校名(京都市立花背小中学校)

学校関係者評価	
評価日	平成29年3月16日
評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
学校関係者による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
<p>・研究会テスト、ブレジョイ、ジョイント、学プロの結果に満足感なく、一人一人に確かな力がつくように教職員一丸となって努力してほしい。</p> <p>・豊かな学力をつける、9年生の終わりに自分の進路実現をさせてほしい。</p> <p>・夢や希望を実現するために、「今何をすることが大切なか」を常に考えさせることによって、自ら学習していくことができると思うので、引き続き頑張ってほしい。</p> <p>・展示会で入賞したり新聞に載ったたりすると、子どもたちの自信につながり学校アピールにもなります。</p>	<p>・研究会テスト、ブレジョイ、ジョイント、学プロの結果に満足感なく、一人一人に確かな力がつくように教職員一丸となって努力してほしい。</p> <p>・豊かな学力をつける、9年生の終わりに自分の進路実現をさせてほしい。</p> <p>・夢や希望を実現するために、「今何をすることが大切なか」を常に考えさせることによって、自ら学習していくことができると思うので、引き続き頑張ってほしい。</p> <p>・展示会で入賞したり新聞に載ったたりすると、子どもたちの自信につながり学校アピールにもなります。</p>
<p>・9年生で進路実現ができるよう家庭でもしてから学習できる子どもにていってほしい。</p> <p>・塾に通うことができない地域なので学校だけ頼りです。</p> <p>・できない子への手立てとして放課後学習するこも必要です。</p>	<p>・学校と家庭・地域が一体となり家庭で学習する雰囲気をつけていくことが必要だと思います。</p> <p>・なぜ家庭で学習する習慣をつけることが必要なのか、低学年のうちから子どもにも家庭で発信していってほしい。</p>
<p>・今まで同様、人権意識をしっかりとつけていく必要があります。</p> <p>・子どもの様子を見ていると、あいさつをしきりにできるようになってきています。明るくなっていると思います。教職員の体制づくりのお陰だと思います。</p> <p>・継割り活動において、上級生には思いやりの心が育ち、下級生の面倒を見てくれるようになってきています。下級生は、そのことを喜び、自分が上級生になった時にはできるようになってきていると思います。</p> <p>・継割り活動によつて子どもたちのいい面が育てられていると思われるので、続けていってほしいと思います。</p>	<p>・思いやりの心は、とても大切なことなので学校だけでなく、家庭・地域でもつけていく必要があります。学校でやられることをみんなで支援していきたい。</p> <p>・日々の子どもたちの言動に気配り、小さなことも見逃さず指導を続けていっていただきたいと思います。</p> <p>・学校だけではなく、家庭でも地域でもあいさつができるようになってきていているので、継続していくべきだと思います。</p> <p>・継割り活動によつて子どもたちのいい面が育てられていると思われるので、続けていってほしい。</p>
<p>・早朝早く朝ごはんがしっかりできているのはうれしいことです。</p> <p>・みんなが運動に取り組めるよういろいろと工夫してもらっています。レンボータイムの有効な活用も、子どもたちとともに考えていくべきです。</p> <p>・家庭で、スポーツをしたり遊んだりできる空間を作つてほしいと思います。</p> <p>・スポーツや遊びを通して学校がまとめていくことはとても大切なことです。</p>	<p>・基本的生活習慣については、家庭でのことなので親がしっかり担当してほしいが、学校・地域が支援していくことも必要である。</p> <p>・子どもたちの頑張りたい部活動を考へ、部活動の新設も考えていただいているのは嬉しいことです。</p> <p>・教職員も一緒に身体を動かしていただき、一緒にスポーツや遊びをしてほしい。このことから、子どもの達つた一面を見つけ出すこともできると思います。</p>
<p>・子どもたちの自信にもつながっているので、継続していってほしい。</p> <p>・わくわくバンド、スキー学習、花皆習、そろばんなど花背校ではできないことがたくさんできている。子どもたちはふつうことと思っていて、とっても素晴らしい保護者がでてほしい。</p>	<p>・子どもたちの自信にもつながっているので、継続していってほしい。</p> <p>・花背小中学校ならではの取組をいろいろな場面でアピールしていただき、花背小中学校へ通わせたいという保護者がでてほしい。</p>

3 総括・次年度の課題

<p>・今年度は、11月に家庭教育家講座で、学校評価についての話し合いを行った。このことにより、子どもたちが自主的、主体的に行えるようになるために、学校と家庭それぞれが責任をもって取り組む内容を明確にすることができた、連携を密にしながら取組を進めていくことが明確になった。第2回評価では、保護者の意見が、第1回評価に比べよい評価となった。今後も学校・家庭・地域の三者が一体となって、様々な取組をすすめていきたい。</p> <p>・成果と課題や改善策について、第1回は「期の会」を中心、第2回は分野ごとに各期の代表者で検討し、その結果を全体で交流した。これにより、様々な課題について校種の違いを越えた「9年間の学びと育ち」という視点から考えようとする意識がより一層高まった。その結果を学校運営協議会で検討していただくことで、より深まりがみられ、成果や課題が一層明らかになった。</p> <p>・学校運営協議会においても、よい評価をいただき、学校に期待していると励ましの言葉をいただいた。いろいろな取組をアピール(外部発信)することにより、花背小中学校に通わせたいという保護者がでてほしいという地域の熱い思いを感じることができた。</p>
